

## 【活動計画】

1

サンゴ礁の保全  
中木地区

・ダイバーによるサンゴの生息調査を行う。  
海中及び海岸のゴミ及び有害生物を除去する。

2

海洋汚染物等の除去  
小稲・伊浜・手石地区

・6月に手石地区の海岸清掃を、11月に手石地区（小稲・下流）の海中清掃を行いました。

3

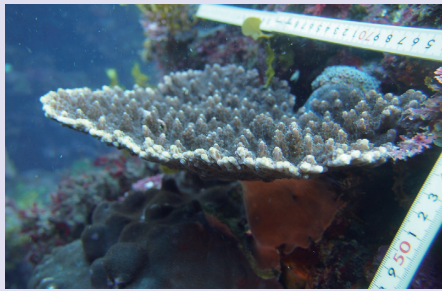
モニタリング

・サンゴの生育状況や増減の確認を行う。  
・清掃活動を行った地域の海中生物の増加量や海岸・海中ゴミの堆積状況の確認を行う。

## ●令和4年度の実績状況

### 【実績】

#### 1 サンゴ礁の保全



#### 2 海洋汚染物等の除去



■回収された海岸ゴミ

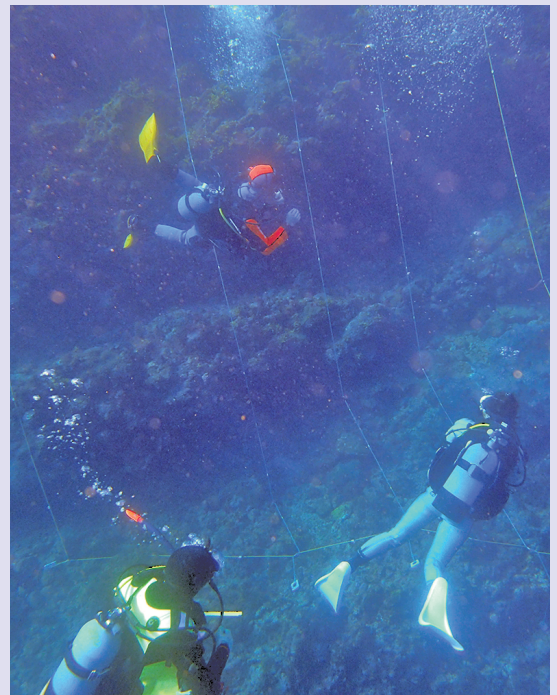


■海中ゴミの状況



■海岸ゴミの回収作業

#### 3 モニタリング



■コドラート（5m×5m）を使用してサンゴの生息状況記録

### 【これからの課題】

南伊豆町中木地域のサンゴ群落は本州の北限のサンゴとも言われ大変貴重なものです。しかし20数年前に比べると明らかにサンゴの個体数が減少しています。当時から継続してモニタリングした資料はなく、サンゴの成長が遅いため、回復傾向の判断が難しくなっています。できればこの先10年単位の継続したモニタリングが必要だと思われます。

また浮遊ゴミの回収に関しては明らかにプラスチックゴミや回収が難しい

マイクロプラスチック等が増えています。これらのゴミの回収を行うとともに出さない工夫など、一般向けの講座の開催なども行う必要があると考えます。

南伊豆地区の海中ゴミは明らかに減少していますが、地元由来ではない浮遊ゴミ（プラスチック）が明らかに増えています。これらのゴミの清掃活動はもちろんですがどこからこのゴミが浮遊してきたのか調査も必要と考えます。